



寺院名物シリーズ⑦ 福屋組・正蓮寺山門

弘化二（1845）年に竣工した正蓮寺の山門は、当時の住職祐哲が岐阜より伴って帰った工匠・長山喜一郎によるもので、石見三門の一つと言われている。

ことに「水呑龍」（みずのみりゅう）と呼ばれる龍の彫りものは、夜毎に村の堤に水を呑み出るとの噂がひろがり、喜一郎が心臓に隠し釘を打ってから出なくなったという伝説がある。また門扉の「牡丹に唐獅子」は、陰陽、晴雨の様子を見事に彫り分けており、特に雨の日の表現はすばらしいと言われている。

山陰

編集 山陰教区基幹運動推進委員会
 発行 山陰教区事務所
 〒690-0001 松江市大正町四三ノ一
 本願寺山陰会館
 TEL 〇八五二 〇四七四
 FAX 〇八五二 〇八三五一
 発行者 三 明 浄
 信

『教区基幹運動二〇〇六』をふりかえって

山陰教区相談員 朝枝俊円

さて、教区の年間の活動は教区

報に随時掲載しておりますように

多種多彩、総額五千万円にも及ぶ

ものであります。ことに本年は、

基幹運動のスローガンが『ともに

いのち かがやく 世界へ』と刷

新され、同時に『親鸞聖人七五〇

回大遠忌法要』に向けて、『世の

なか安穩なれ』のスローガンのも

と全組において御消息披露記念法

座が開かれるなど、新たなスター

トを切ることにになりました。

まず、教区としての永遠の課題

「過疎問題」について、現行では

過去五年間、教区布教団のご協力

をいただいて「ともしび法座」を

継続してきました。本年は十二会

所の開座となりましたが、抜本的

取り組みがなされていないのが現

状です。寺院としての機能が全う

されてはじめて成立する基幹運動

であることを思うと、このことに

ついて全教区を挙げての取り組み

が必要であることは言うまでもな

いことです。個々の意見に止まる

ことなく、教区として集約するこ

とが求められています。

次に、「僧侶と門信徒との課題

の共有」について。これは組織教

化活動の活性化を促す上におい

て、「男女共同参画」と共に欠く

べからざる重要課題です。例えば、

門徒推進員連絡協議会。総代、仏

壯、仏婦、場合によっては仏青も

ありうるということでは会員が構成

されています。男女の別を越え年

齢的な差異を越えて、共通の課題

を持ちながら共に活動をしていま

す。が、門徒推進員の人数には地

域差が顕著です。連研を実施され

ている組は、その回数は別にして

も二十六組中二十三組で開催され

ているようです。しかしながら、

門徒推進員が五名以上誕生してい

る組となりますと、わずかに十組

を数えるのみであります。また、

連研修了者全員がそのまま門徒推

進員とは限りません。今後は、こ

れらの連研修了者に対するアプロ

ーチやフォローが不可欠となりま

しょう。

研修会報告

響きあうよろこび

— 中・四国地区仏教婦人会大会に参加して —

飯石北組 善福寺坊主

蘿 淳子

「出遇い響きあうよろこび」のテーマのもとに、平成十八年十一月十四日、広島サンプラザで大会が開催された。

大会会長の安芸教区教務所長・富永真秀先生は標記のテーマを設定した理由について、

「急速な社会状況の変化に伴い、人々は命の尊厳を見失い、忌むしい事件、事故が多発している。そのような今だからこそ、命の大切さを確かめ合い、命の尊厳を噛みしめるべきである」と。さらに、近年お念仏の声が聞かれなく



なつたという事実について、「親鸞聖人七百五十回大遠忌を機縁に、仏教婦人は、お互い響き合い手を取り合つて、社会に向けて積極的に取り組み、活動してほしい」と述べられた。

安芸教区のカラール全面に

安芸教区仏教婦人会連盟の大江苑子大会委員長は挨拶の中で、「安芸教区独自の特色を活かすという考えのもとに、ご講師、アトラクション等、教区のカラールを全面に押し出して作りあげた」と説明された。

仏教婦人会総連盟総裁・大谷範子様は、阿弥陀如来様のみ教えを戴きながら、心豊かに生きる事のできる世の中、平和な世界を築くために、具体的に何が出来るかを皆で考え、話し合うよう語られた後、金子みすゞの詩を引用され、「自分が他の人からかけてもらいたい言葉、まなざし、心遣いは、私が発することによってこだまとなって返ってくる」と述べられた。総裁様のお言葉を戴いて、改めて念仏者としての自覚を深めさせていただいた。

この後ご法話に移り、午前のご講師、渡辺幸司先生は、自分のありのままをそのまま飾らず話を進められ、聴聞する者に、その言葉一つ一つが直に響いて来るようであった。池田小学校の殺傷事件について、「温もりをもらった子は、人に温もりを与える。凍りついた心は動くことなく、社会の病氣

は社会の弱い者にストレスが向けられる」「真実は永遠性がある。自分の心に真つ直ぐみ教えを戴くことができる」。そして、「心得たりと思うがわからんなりと蓮如上人は仰せになったが、わからんとは、私より大きいものに出遇つて初めて知れる。そんな私をお念仏は我が子よと呼んで下さる」と。

また、午後のご講師・武田公丸先生は、「人は本願に遇うために生きている。生きていてよかったと思える。遇うべきものに遇う事が大切である。親鸞聖人は法然聖人に出遇われ、他力の信心をいただかれた。ここに私がいるから阿弥陀如来様が立

癒されて：ビハラー研修

代表 藤川 定男

慈光照護のもと、皆様にはご健勝のことと拝察申しあげます。

「ビハラー山陰」の今回の研修会は、「ビハラー浜田」のご協力により開催させて頂くことができました。

講師は、「ビハラー浜田」の要望により、元龍谷大学学長・信楽峻磨先生、テーマは、「念仏者は現代をどう生きるか」。

日時は、講師の信楽先生の日程にあわせて十一月十六日。開催準備はすべて「ビハラー浜田」の会員のみなさまの全面的な実践活動を頂いて、県の西部地域研修施設「いわみーる」四階研修室に於いて、盛会裡に開催するこ

ちあがつて下さる」と、体験談を交えながら、浄土真宗のおみ法をお取り次ぎいただいた。

「飾らんでも、匿さんでも、本音で生きること。ちつとも変わらない自分に気がつく。どんな人生を歩んでも、どんな苦境に落ち込んでも立ち上がっていくける人生を」のお言葉は心に染み入り、勇気のわく思いであった。

安芸教区の特徴が活かされた音楽法要、ミュージカルにも心和やかに楽しく過ごした。

安芸教区の皆様の多大なご尽力により、実り多い一日を過ごさせていただきました。心より感謝いたします。

とが出来ました。

当日の参加者は、浜田組九十三名、教区内より二十八名合計百二十一名のご参集を頂いて信楽先生の心に染みとおる、体系的にわかりやすく、「生きるとはどう死ぬか」「仏に成るべき身に成る」、真宗者は自己の人生の危機を越えさせて頂く、信心は体で聞くこと肝要なりと、厳しくやさしくお話しされビハラー研修会ならではの癒された有り難い、尊い仏縁を結ばせて頂き、みなさまと共にお念仏申しながら、会を終えることができました。

教務所長様をはじめ教区ビハラー担当のご高配と、ビハラー浜田会員の皆様方のご尽力に厚く御礼申し上げます。

「坊守」って何？

—山陰教区寺族婦人会研修会に参加して—

大家族 原田 由久子

「和らかなるをもつて貴しとなす」というテーマで、大森組西性寺さんを会場に開催され、六十二名の参加がありました。

当日の研修会ご講師の吉川恭順氏は法話の中で、

「人間とは支えあうこと。

過ちあうをみれば互いに深く諭す。

好きことあるをみれば深く随意する。

共感する。

苦危にあるとも相捨てず」と話されました。なるほど、とうなずかされながら聞かせていただきました。

門徒総代研修会

二〇〇六(平成十八)年度総代研修会を鳥取地区(十一月三十日因幡組願生寺)・出雲地区(十二月十三日 フローライイズも)・石見地区(十二月十四日 浜田組覚永寺)の三会場にて開催いたしました。

小玉教雄師より「七百五十回大遠忌をお迎えして私たちは」と題してご講義をいただきました。親鸞聖人のご生涯をたどると共に、寺院それぞれの実例を挙げながら宗法から見た総代の役割を再確認

アンケートの中にも「わかりやすいお話だった」という声が多くありました。また、「坊守とは何か?という事をお聞かせいただきかったです」という声もありました。

坊守として何ができるか? どうすれば良いか? どうしなければならぬか等お聞きになりたかったようです。

午後からは自由散策の予定でしたが、突然雨が降り出し、それぞれ自由に「ひろた屋」さんで昼食をいただき、雨の中、傘もささずに歩き始めました。

アンケートに記されていた参加者の声を紹介します。
・場所がわかりにくかったので、わかりやすい地図をつけて欲しかったです。

また、総代各班の話し合いでは、人材の育成・ご法義相続に関すること、僧侶・住職との関わりや、寺院経営についての問題、また問題を克服した事例など多くの情報交換がなされ、その後発表されました。

大遠忌宗門長期振興計画を受けて、それぞれの寺院で過疎・過密問題、次の世代を担う「人」の育成など、今後の取り組みにおいて、住職と総代の意思の疎通、住職・教化団体・門信徒との課題の共有と、横のつながりが大切であると

しました。

いう意見も出ました。



た。(世界遺産の登録に向け道路工事が多く、規制もありで駐車場もわかりにくかったようです。)

・寺としての悩みや坊守としての悩みを語り合いたい。

・自己紹介、発表のない分科会は疑問。

・お互いの情報交換がしたい。

・坊守だけでは、ゆっく

りいろいろお話をできる機会をつくって欲しい。



伝統ある京佛具を後世に伝えたい

浄土真宗本願寺派仏具専門店
寺院用 在家用 仏壇 仏具 記念品

株式会社 古田た佛具製作所

営業時間/午前9時より午後5時30分 定休日/日・祝日

〒600-8227 京都市下京区七条堀川上ル菱屋町(西本願寺前)
TEL(075)343-2341 FAX(075)343-0836
http://www.furuta-butstugu.jp

御本山 **近** 用達

株式会社 川勝法衣店

フリーダイヤル 0120-075-055
(600-8344) 京都市下京区花屋町通油小路東入

電話 (075) 371-0367 (代)
FAX (075) 371-5088

基幹運動研修会に参加して

山陰教区門徒推進員連絡協議会

会長 松浦 靖

出雲広域農業共済組合の会議講堂を会場として、二月十八日に門徒推進員百十二名と職員四名の百十六名参加での開催となりました。開会式のご挨拶で三明教務所長が男女共同参画の問題と、去る二月七日に読売新聞に掲載された「輪廻転生」の解説が科学的に解明されたとの記事を取りあげられ、今後、論議が活発に行われるだろう、との課題を頂きました。

講演では「親鸞聖人七百五十回大遠

第二回「特別法務員・法務員試験合格者研修連絡協議会」を開催して

山陰教区勤式指導員

小笠原 弘之

去る二月二十七日午後より、本願寺山陰会館の本堂を会場に、教区内の特別法務員・法務員試験合格者を対象とする第一回目の「特別法務員・法務員試験合格者研修連絡協議会」を開催しました。参加者は二十名で、協議会及び研修会を行い、協議会では、教区内の各合格者の現況や今後の開催計画について話し合いを持ち、研修会では、講師として本山より桃園裕成式務部会役者をお迎えして、本願寺派声明の流

忌についての『ご消息』をいただいて「親鸞聖人の生涯に学ぶ」と題して乗光寺住職北島清秀師に講義して頂きました。ご誕生から比叡山を下りられ、法然聖人の専修念仏に帰されたこと、専修念仏停止宗祖ら流罪、子善鸞を義絶、宗祖示寂と史実に基づきご生涯をお話し下さいました。また、親鸞聖人のご遺徳や、お法もわかりやすく、お話しくださいました。

午後から、コーディネート上田正吉氏(温泉津組)の司会で、「門徒推進員の自覚」と「親鸞聖人に学ぶ」とのテーマでパネリスト榊原和茂氏(出雲組)持田淑子氏(出雲組)上田克夫氏(神門組)高橋良美氏(千須賀組)の四名より

れと声明等の現況の唱え方についてや、勤式にかかる質疑応答がなされ、色々のご指導を頂き研鑽を深めました。第一回目のためか、参加者がやや少なかつた感もありますが、回を重ねるごとに参加者の増員と、技量の研鑽を図りたいものと考えています。

また、教区内の勤式活動体として、既に雅楽を経験し、更に、雅楽や声明の研鑽等を行うことを目的として組織された「山陰教区雅楽声明会」を紹介しました。この会は、平成十六年六月に別称を「雅龍会」として発足し、年々会員を増やし、現在では二十四名の会員によって組織構成されています。主な活動内容は、本願寺山陰会館でお勤めされる一月の御正忌報恩講法要

取組んでいる事、実施している事等、実例を挙げ意見発表頂いて、皆さんとパネル討論会を致しました。皆さんからも活発に意見が出て十分討論でき、研鑽しあえたと思います。特に親鸞聖人の教え、お法りに従い、正しい道を聞きわけてひろめていくこと、教務所長のご挨拶での「輪廻転生」の新聞記事への質問、また、神・靖国の問題などが主でありました。

最後に北島先生からも神・靖国の問題はこれで終わりではなく、これから取上げていかなくてはならない事を強く述べられました。

と、十月の落成記念法要に奏楽員として出仕し、雅楽を演奏し声明を唱えたり、雅楽研鑽の場として、十一月を除く毎月の第二・四木曜日を目安に練習会を開催しています。この練習会は、雅楽の練習だけでなく、声明等の練習も一緒に行っています。

この会も将来的には、雅楽を初めて志す方々にも参加して頂けるよう会員一同研鑽を深めて行こうと考えていますので、その節には、多くの方の参加をお願いします。



仏壇・寺院用品・製造・修復

報恩感謝

ぶつだんの

内田衷造商店

木次・☎(0854)42-0266 下熊谷・☎(0854)42-3711
出雲・☎(0853)21-3253



Your Global Lifestyle Partner
株式会社JTB中国四国
松江支店

住所：島根県松江市菅田町180 原徳興産ビル2階
TEL：0852-23-2020(国内旅行) / 23-2024(海外旅行)
0852-23-6720(団体旅行)
FAX：0852-23-2023



一年目をむかえて

山陰教区仏婦連盟委員長
山崎和子 (大家組)

み仏と皆様のおチカラによりこの一年目をむかえることが出来ました。まだ二年三年目とお世話をかけることも多いと思いますが、何卒よろしくお願い致します。

普段から、あまりお寺に行かなかつた私が、仏婦連盟委員長を引き受けてから、出来るだけお寺へ足を運ぶようになりました。お聴聞をかさね多くの方とご縁をいただきました。

平成18年度 ともしび法座開催表

開催組	開催寺院	開座日	開催組	開催寺院	開座日
1 松江	蓮生寺	平成18年 9月21日	7 温泉津	金剛寺	平成18年 12月4日
2 松江	願誓寺	9月21日	8 江津	専応寺	12月4日
3 松江	誓願寺	9月22日	9 鹿足	了徳寺	平成19年 1月21日
4 松江	福萬寺	9月22日	10 邑智東	明照寺	3月26日
5 佐波	教願寺	10月20日	11 邑智東	光西寺	3月27日
6 佐波	大光寺	11月4日	12 邑智東	品龍寺	3月28日

平成19年度出講一覧

鳥取常例線「因幡線」					
各月14日～16日		組名	寺号	講師名	ブロック
平成19年	4月	鹿足	善正寺	齋藤断城	石西
	7月	出雲	宗玄寺	藤森観海	出雲
	9月	温泉津	光善寺	波北顕	石東
	10月	邑智西	立善寺	毛利聡真	邑智
平成20年	3月	福屋	林蔵寺	加納真	石西

鳥取常例線「伯耆線」					
各月16日～20日		組名	寺号	講師名	ブロック
平成19年	4月	大家	西臨寺	荒本由未	石東
	7月	千須賀	永照寺	吉川恭	邑智
	9月	浜田	蓮敬寺	津村顕照	石西
	10月	出雲	光栄寺	藤川昭信	出雲
平成20年	3月	石東	法専寺	小笠原芳秀	石東

本願寺山陰会館「燈映会常例法座」					
		組名	寺号	講師名	ブロック
平成19年	4月20日	金 飯石南	真向寺	吉川光城	出雲
	5月21日	月 仁摩	大雄寺	毛利寿恵子	石東
	6月21日	木 佐波	西念寺	岡田哲水	邑智
	7月20日	金 三隅	禮光寺	月洞昇道	石西
	8月21日	火 飯石南	高林坊	橋本明宣	出雲
	9月21日	金 大森	浄福寺	高津真悟	石東
	10月19日	金 安芸・深川	順覚寺	橋崎正道	教区外
	11月	*** 休 座 ***			
	12月21日	金 邑智東	真清寺	瑞光倫浩	邑智
平成20年	1月21日	月 山口・厚狭西	常元寺	伯教雄	教区外
	2月21日	木 江津	西楽寺	的場利香	石西
	3月21日	金 松江	真行寺	隼田真生	出雲

許されて、今があるわけですが、諸先輩方の見えなかつた努力をはじめて肌で感じているところです。

ある時、仏花を替え本堂から降りる途中の階段の踊り場で、源左さんのことばが目にとまりました。言うまでもなく、仕事は当たり前のこと、源左さんの大きな心にふれ、こんな私が大悲のど真ん中にあると頂く時に、心あらたに、与えられたひとつの仕事丁寧にしていこうと思つたことです。

(R・K)



教務所の階段の踊り場に、源左さんのことばがかけてあります。「偽になつたらもうええだ、中々偽になれんのでう」信仰に悩む同行に對して語られた、慈悲深いことばだそうです。偽者だと思つていた自分が、受け入れられる世界が与えられています。

ところで、ここ一年二年で教務所の顔ぶれがガラッと変わり、個人が担当する仕事も変わりました。現在は私を含めて、その一年生が頑張つて仕事をしていますが、なにしろ慣れないことばかりですので、ミスが続きました。各方面より寛大な心で

昭和33年10月
たった1台のタイプライターから
当社の歴史は始まりました

あなたの要望を形に!
商業印刷
印刷の原点はここにある
出版印刷
活用方法は無限大
マルチメディア制作
出力サービスもおまかせ
オンデマンド印刷
イベント用ポスターなど



株式会社谷口印刷
TANIGUCHI PRINTING CORPORATION

〒690-0133 松江市東長江町902-59 朝日ヒルズ
TEL (0852) 36-5888 FAX (0852) 36-5889

幕式軍装一式
・門徒装束
・念珠・雑念
・旗・雑記
・襷袢袴
・袷切羽織
・袴・袴
・袴・袴
・袴・袴
・袴・袴

御本山御用達 開明社員

井筒法衣店
井筒與兵衛

本店 京都市下京区堀川通新花屋町角(西本願寺前)
(〒600-8503) フリーダイヤル ☎ 0120-075-720
フリーダイヤルFAX 0120-075-490



仏社会設立について

出雲組 了玄寺

初代会長 榊原和茂

平成十五年、出雲組十四ヶ寺中、十番目に我が了玄寺仏社会を結成しました。

門徒数の少ない中、会員五十八名で今日に至っています。

会則の特徴的なものは、男女混成会員であること、定年七十歳としていることです。

男女混成については、現代社会の男女共同参画としたことと、たまたま当寺には女性部が無かったからです。

七十歳定年については、「壮年」の文言を重視したことです。

この年齢に達した人は本会の重要ポストで活躍中であります。

ちなみに設立当時、私は役場OB六十八歳の最高齢会員でありました。

父が初代分家したものの私の幼少の頃戦死。こうした家庭環境から、亡父を通じ、了玄寺との関わりから初代会長に就任。役員任期二ヶ年、同時に定年で退きました。

仏社会の男女混成は珍しく組の総会で紅一点の参加となるなど戸惑いもあります。今後、混成団が他寺でも結成されるよう希望しています。

仏社会事業については、お盆を中心に寺院境内の清掃、仏具

みがき、貸切りバスで妙好人・才市、源左さんへ参拝、出雲組外寺院めぐりなど日帰り研修を年一回実施。

旧大原郡内三ヶ寺の会員との交流もしています。勿論女性会員は了玄寺のみで懇親会はにぎやかです。

また、会報の発行も年二回実施。本会より毎年三万円の助成金を受け門徒全員へ配付しています。会員の年会費は千円、その他は参加者負担としています。

なお、了玄寺では今秋完成を目処に、本堂改築の大事業に目下鋭意取組み中です。

改築に当たり、ご本尊様をはじめ仏具の搬出移転作業に仏社会の奉仕活動は高く評価されています。み仏様を安置する御堂を建立し、今後の運営に門徒一同、なにかんぞ若手仏社会の存立意義は大であります。

山陰教区ホームページ開設

二〇〇七(平成十九)年二月一日、山陰教区のホームページを開設しました。
<http://www.saninkyoku.net/>

ただいま今年度の教区で開催した行事の様子などを掲載しております。是非ご覧ください。

また、「ブロックだより」として掲

載するニュースを募集

しています。各組、各ブロックの行事の様子や行事のご案内、耳寄りなお話などをお寄せください。

ますます、内容の充実を図ってまいります。よろしくお願いいたします。

山陰教区のホームページを開設しました!!



- ・山陰教区行事予定
- ・教区所からのお知らせ
- ・ブロックだより
- ・山陰の妙好人
- ・常陸土庫「燈明会」ご案内
- ・各教区関係からのお知らせ

浄土真宗本願寺派山陰教区公式ホームページ
<http://www.saninkyoku.net>

山陰教区

検索

浄土真宗教学伝道研究所所長 森田 真円 [著]

近刊

笑う門には念仏あり

人々の生活感覚に寄り添った浄土真宗のあり方を明らかにしようとしたのが、本書。日常のたわいない出来事や人々の言葉の中から宗教への糸口を探った文章には、著者のやさしさやウィットが垣間見え、軽妙で味わい深い内容となっている。

本願寺出版社 0120-464-583 075-341-7753

〒880 京都市下京区堀川通花屋町下ル <https://www2.hongwanji.or.jp/shuppan/>

■B6判／並製本／定価未定

ドミニシア組

『男女共同参画』をすすめるにあたり 私の感じたこと

市山組 副組長 岡本一代

『男女共同参画』という言葉を取り入れるようになったのは、ここ十年位の間ではないでしょうか。始めのうちには女性が社会の中でどのようにすれば過ごしやすいか、生活しやすくなるかとか、女性の社会進出の面ばかりが、大きく取り上げられていたように思います。

女性だけを優位にする施策のように感じておられた方も少なくないのではないのでしょうか。

政府は二〇二〇年までに、管理職・指導的立場に女性の登用を三〇%まで引き上げることが目標にしています。そのため、各自自治体によりセミナーや研修会が多く開催されています。

そうした中、今年度から平成二十三年度までの基幹運動総合基本計画の基幹運動の願いの中に、男女共同参画が取り入れられたということは重要な事です。このことから判りますように女性だけを対象にした取り組みではないのです。

男女共同参画の中には、男女差別だけでなく、ジェンダー（社会的性別）の問題、職種による差別、ドメスティック・バイオレンス（DV）、パワー・ハラスメント、セクシャル・ハラスメント等色々な問題が入っています。

僧侶の世界では、昔ながらのしきたり、風習みたいなものがあり、このよなことを言えばお叱りを受けるかもしれないですが、女性蔑視や門徒数の多い少ないといったところで不快な思いをされた方もあると思います。その様な、問題点や悩みを、言葉にしていくことが、男女共同参画を進める始めの一步となるのです。

ある研修会に参加したときのことです。その時の講師の方が「たくさんの人たちの問いを掘り起こす力を持った学びが、男女共同参画の学びでありたい」といつも願っているんです。」とお話をされていました。その研修で私は、その学び（学習）を提供できる啓発のあり方、またそのことについて周りの人たちにどのように伝えていくかというリーダー養成・人材育成が重要なキーポイントだと教えられました。

私たち僧侶は、その担い手の一人になれるのではないのでしょうか。お寺は昔からその場所にあり、地域の特徴や雰囲気は良くわかり、何よりも人との出遇いが多く、異世代の方々の話を聞くことも多いから、申し分ない職業だと思えます。

地域や、学校関係、職場関係では

朝枝善照先生がご逝去されました

龍谷大学教授・朝枝善照先生（邑智西組浄泉寺）が去る一月三日にご逝去されました。謹んでお悔やみ申し上げます。

朝枝先生は、昭和六十一年から龍谷大学文学部教授（文学博士）、平成十六年から司教となられ、後進の育成や妙好人の研究などにご尽力されました。著書には、『平安初期仏教の研究』『妙好人伝基礎研究』『仏典童話の研究』など多数があります。

男女共同参画についての研修会や講演会が行われていますが、僧侶、門信徒対象ではあまり聞いたことが無いように思います。せっかく基幹運動の中に取り組まれているのですから、私たち僧侶・寺族・門信徒がそれぞれの立場で感じている問題点・疑問点を話し合える場（サロンみたいな場）を設け、ともにお念仏で繋がっているもの同士、大切な時間を築いていければいいと思います。

次の世代にお念仏を繋ぐために今できることを僧俗ともに考える岐路に立たされていると痛感しています。少子高齢化の社会のせいだけではなく、私たち大人がどのように行動するのも、大切な判断材料となっているのではないのでしょうか。

【男女共同参画】とても難しく、奥の深いテーマです。

お仏壇・仏具はやっぱり京都...



伝統工芸 京仏壇・京仏具

若林

京都本社 / 〒600-8218
京都市下京区七条新町東入
☎ (075) 371-3131(代)
東京店 / 〒146-0081
東京都大田区仲池上2丁目8-13
☎ (03) 3755-8488(代)
近江草津店 / ☎ (077) 564-1011
築地店 / ☎ (03) 3546-8228(代)
札幌店 / ☎ (011) 512-3455(代)
仙台店 / ☎ (022) 213-0666(代)
福岡営業所 / ☎ (092) 761-3737(代)
フリーダイヤル(各店共通) / ☎ 0120-37-8585
ホームページ <http://www.wakabayashi.co.jp>
Eメール info@wakabayashi.co.jp

京仏壇京仏具・お仏具ご修復 ご本堂内装・お納骨壇



創業 安永4年(西暦1775年)

京 仏 具

小堀

<http://www.kobori.co.jp/>

本店 / 〒600-8159 京都市下京区烏丸通正面 上る
TEL (075) 341-4121(代) FAX (075) 341-4128
☎(本店) **0120-27-9595** (受付時間9:00~19:00)
Eメール(本店) info@kobori.co.jp 無料冊子をどうぞ

東京店・練馬店・福岡店・札幌店・小堀京仏具工房
お仏壇専用サイト Yahoo! Shopping ストア小堀 <http://store.yahoo.co.jp/kobori/>
京仏壇・京仏具の製作現場をご覧になっていただけます。

ご希望の方は、事前に本店へお申し込みください



連研履修者研修 会とその課題

十二月十二日
(火)、本願寺山陰

会館にて連研履修者研修会を開催。別表のように、連研は二年間で十二回開催を原則としているので、本年はちょうどその端境期となったためであろうか。参加者が例年に比して少なかったが、組連研修了者十一名の参加を得て、「連研ノートD(問いの十)」から、「国のために戦死された方を国が祀ることは当然ではないか」「靖国神社を国家護持することがなぜいけないのですか」をテーマに研修を行った。また教区連研講師による「基幹運動と門徒推進員」「法座とは」の講義があり、さらに仏事勤行についての指導を受けた。

さて、連研実施の報告は二十三組に及んでいる。開催数を見ると、多いところでは十期を超えているのが六組。五期以上が十一組。松江組は四期目にして門徒推進員四十四名、鹿足組は十四期目にして一名の登録というのは、例外的である。

本年度は開催九組、総勢八十八名が受講とのことである。もちろん、中央教修を受けられても、門徒推進員登録をされていない方もあ

るようだが、この三年間で合計五百二十八名が組連研を受講し、門徒推進員登録をされたのが九十六名の増である。おおよそ受講者の二割ほどの方が門徒推進員となっておられるが、その数字は低い。是非とも中央教修に参加いただき門徒推進員登録をお願いしたい。

今ひとつの課題は、残りの八割。四百四十名余りの方々であるが、今どうしておられるのであろうか。せっかく組連研を修了していなから、門徒推進員にならないにしても、この方々へのアプローチ、フォローはどのように対応されているのだろうか。今後の追跡調査を待たねばならないが、まずは組及び所属寺の手厚いご指導をお願いしたい。

2006(平成18)年度 山陰教区 組連研実施現況
(組長アンケート集計より)

組	最終実施	組	最終実施
1 松江	4期 (H17)	14 川本	3期 (H15)
2 出雲	8期 (H17)	15 千須賀	10期 (H17)
3 神門	16期 (H17)	16 市山	3期 (H18)
4 飯石南	11期 (H17)	17 邑智東	7期 (H12)
5 飯石北	9期 (H16)	18 邑智西	14期 (H18)
6 石東	8期 (H18)	19 江津	9期 (H17)
7 大田	5期 (H15)	20 浜田	14期 (H18)
8 三瓶	不祥	21 福屋	2期 (H13)
9 大森	5期 (H18)	22 三隅	5期 (H17)
10 仁摩	7期 (H18)	23 益田	不祥
11 大家	2期 (S54)	24 鹿足	14期 (H18)
12 温泉津	6期 (H15)	25 因幡	3期 (H18)
13 佐波	6期 (H18)	26 伯耆	不祥

編集後記

基幹運動計画が新しくなって早一年、年度末を迎えました。今年も多くの行事が開催されました。

一〇〇号(特集号)を編集する際、教区の過去の活動を知る手がかりが教区報のみであったことを思い出します。行事報告ばかりでは、教区報としての役割を十分果たしているとは思えませんが、活動の記録としての重要な一面を欠くこともできません。限られたなかでの編集の難しさを感じます。

懸案であった教区ホームページが二月一日に開設されました(記事参照)。教区報とホームページ、それぞれの特性を活かし、いよいよ広報活動が充実するよう努めたいと思います。

永らく続いた「雑行感」が今号から「つぶやき」に変わりました。どんな「つぶやき」がでてきますか。お楽しみに。

任期満了に伴い、新年度からは教区基推委員も新たなメンバーで再スタートとなります。教区報も少しずつ変化をとげつつあります。みなさまのご意見をお聞かせください。(F・I)

訂正とお詫び

教区報一〇六号の記事に誤りがありましたので、お詫びして訂正いたします。

五ページ【仏婦若婦人研修会】一段九行目(誤) 罪福心↓(正) 信罪福心

七ページ【クリック】二段二十四行目(誤) 国立戒壇になさったわけでありませう。↓(正) 国立戒壇を大乘戒壇になさるうとされたわけです。

……ともに いのち かがやく 世界へ……

「大遠忌法要」の団体参拝の計画は
「念仏奉仕団」お気軽にご相談下さい。

……… 旅のことならどんな事でも ………



近畿日本ツアーズ(株)山陰支店

〒690-0887 松江市殿町171番地(県庁前) 島根石油ビル1F
(国土交通大臣登録旅行業第20号)

ここにこ よやくさんぽん
☎(0852) 22-4893